



# 平成23年12月期 第2四半期 決算説明資料

2011年7月29日

昭和シェル石油株式会社

## 注意事項

**この資料には、当社グループ（当社及び連結子会社）の将来についての計画や戦略、業績に関する予想、見通しの記述が含まれています。**

**これらの記述は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。**

**従いまして、経済情勢や市場動向、並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性がありますので、予めご了承下さい。**

# 決算ハイライト

## ■ 原油価格と為替レート

		2010年実績	2010年度実績		2011年度実績	
			1-6月実績	1-3月実績	4-6月実績	1-6月実績
ドバイ原油価格	(USD/バレル)	78.1	77.0	100.9	110.6	105.8
為替レート	(¥/USD)	87.8	91.4	82.3	81.7	82.0
	(¥/EUR)	116.3	121.2	112.7	117.4	115.0

## ■ 連結損益計算書ハイライト

(百万円)	2010年度実績 1-6月実績	2011年度実績 1-6月実績	増減	前年同期比 (%)
売上高	1,170,221	1,380,935	210,714	+18.0%
営業利益	17,189	67,642	50,452	+293.5%
営業外損益	4,386	1,176	-3,210	-73.2%
経常利益	21,575	68,818	47,242	+219.0%
※在庫影響	10,449	38,491	28,042	+268.4%
※CCSベース経常利益	11,126	30,326	19,199	+172.6%
特別損益	-917	2,800	3,718	—
当期純利益	11,579	37,244	25,664	+221.6%

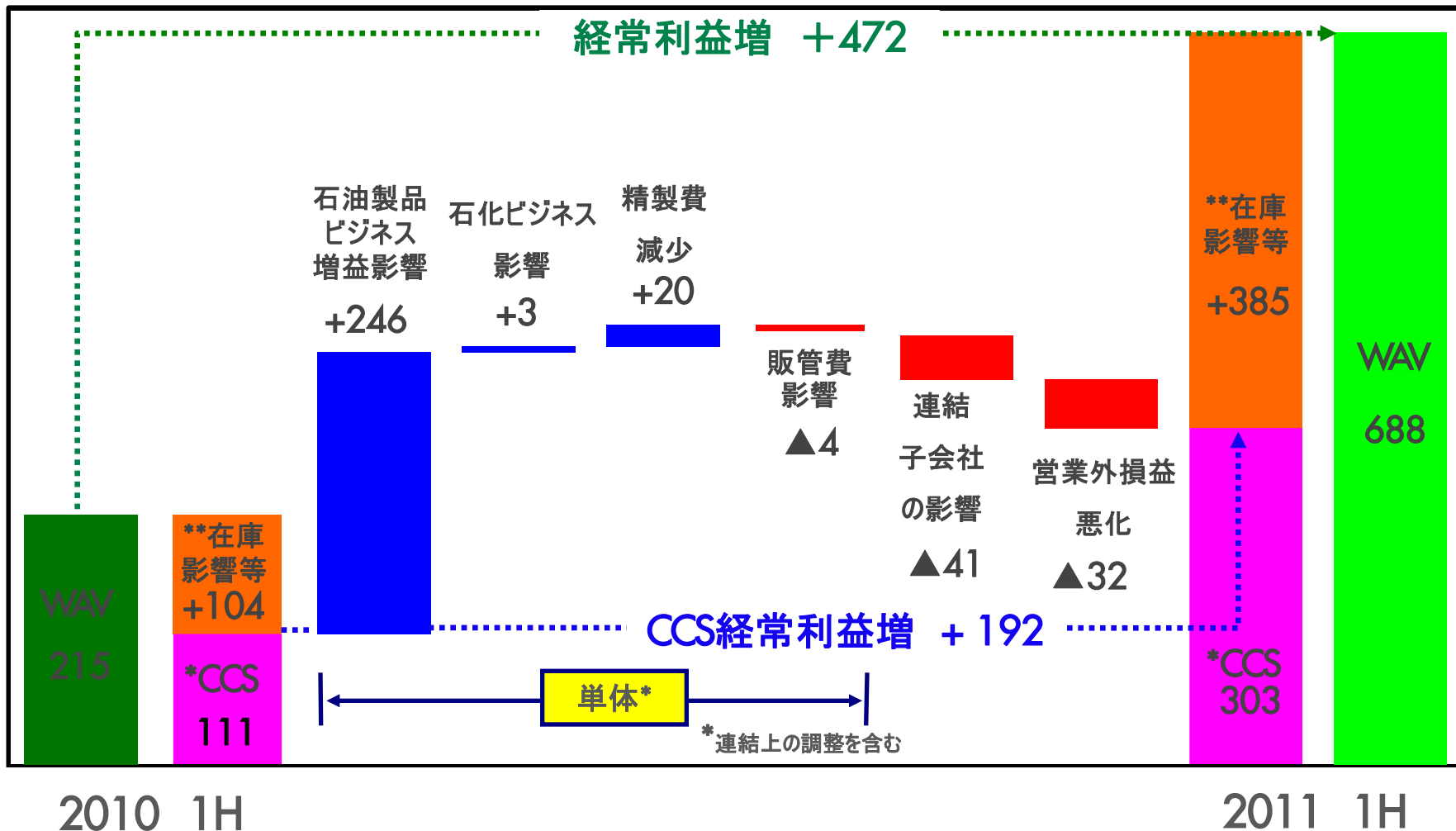
【注】 カレント・コスト・オブ・サプライ (CCS) ベースの収益： たな卸資産の評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

# 決算のポイント

- 平成23年第2四半期連結累計業績は、売上高1兆3,809億円（前年同期比18.0%の増収）、経常利益688億円（同472億円の増益）となりました。また、たな卸資産評価の影響を除く実質経常利益（CCSベース経常利益）は303億円（同192億円の増益）となりました。
- 石油事業
  - ✓ 東日本大震災後に国内向けの安定供給のため在庫が積み上がり、一時的にマージンが悪化したものの、その後は製油所の稼働を最適化するとともに輸出を再開したことで、在庫は正常化し、国内マージンは前年同期比で改善しました。
  - ✓ 輸出についてはアジア域内の堅調な需要に下支えされ、前年同期比でマージンが改善しました。
- エネルギーソリューション事業（太陽電池事業）
  - ✓ 太陽電池産業は、世界的に販売価格の下落が引き続き進行しました。
  - ✓ 新工場である国富工場は、2月より一部ラインにおける商業生産を開始しました。7月29日現在、全生産ラインが順調に稼働しております。

# 要因分析

(単位:億円)



\* CCS: Current Cost of Supply (在庫評価の影響を除いたもの)  
 \*\* 「在庫評価影響等」には、たな卸資産の簿価切下げによる影響を含む。

# 原油処理実績と販売数量実績

## ■ 原油処理実績と稼働率

		2010年	2010年 1-6月実績	2011年 1-6月実績
原油処理実績	(千KL)	25,168	12,376	13,810
稼働率	(%)	84.2%	83.6%	93.2%

## ■ 製品別販売数量

(千KL)	2010年度 1-6月実績	2011年度 1-6月実績	増減	前年同期比
揮発油	4,422	4,515	93	+ 2.1%
ジェット燃料	1,068	1,000	-68	- 6.3%
灯油	1,392	1,669	277	+ 19.9%
軽油	2,110	2,490	380	+ 18.0%
A重油	704	854	150	+ 21.3%
C重油	680	806	126	+ 18.6%
その他	2,142	2,139	-3	- 0.1%
輸出	2,154	1,888	-267	- 12.4%
合計	14,673	15,361	688	+ 4.7%

# 平成23年12月期連結業績予想

## ■ 原油価格と為替レート的前提

		2010年 実績	2011年前回想定 (5月発表)	2011年想定 (今回修正)	修正値
ドバイ原油価格	(USD/バレル)	78.1	100	108	8
為替レート	(¥/USD)	87.8	84	81	-3
	(¥/EUR)	116.3	116	115	-1

## ■ 連結業績予想

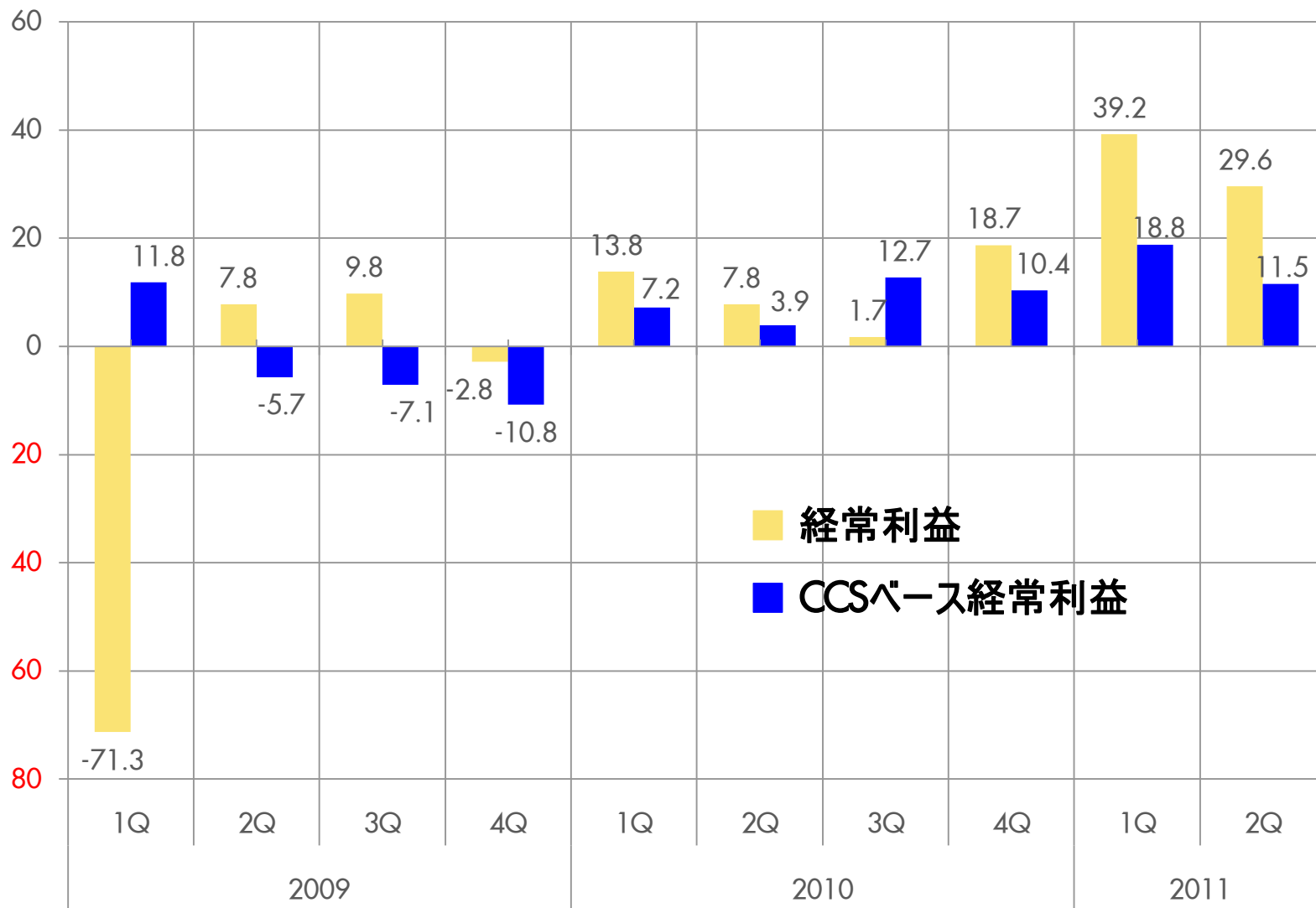
(百万円)	2010年 実績	2011年 5月発表予想	2011年 今回修正予想	修正値	前年同期比(%)
売上高	2,346,081	2,638,000	2,840,000	+ 202,000	+21.1%
営業利益	36,701	61,000	75,000	+ 14,000	+104.4%
経常利益	42,148	60,000	75,000	+ 15,000	+77.9%
※在庫影響	7,861	29,000	42,000	+ 13,000	+434.3%
※CCSベース経常利益	34,286	31,000	33,000	+ 2,000	-3.8%
当期純利益	15,956	34,000	39,000	+ 5,000	+144.4%

# 参考データ集



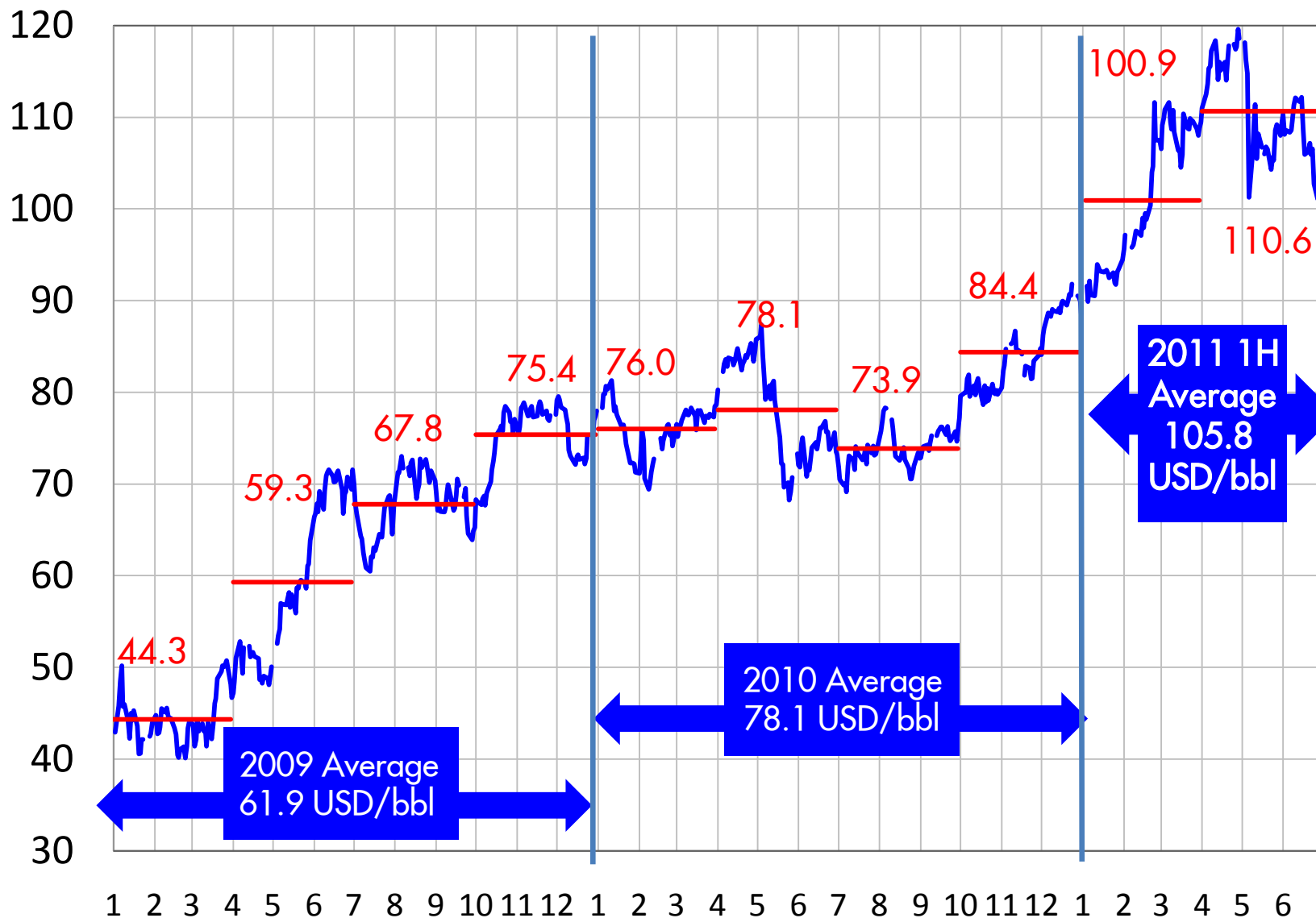
# 四半期別 経常利益の推移

10億円



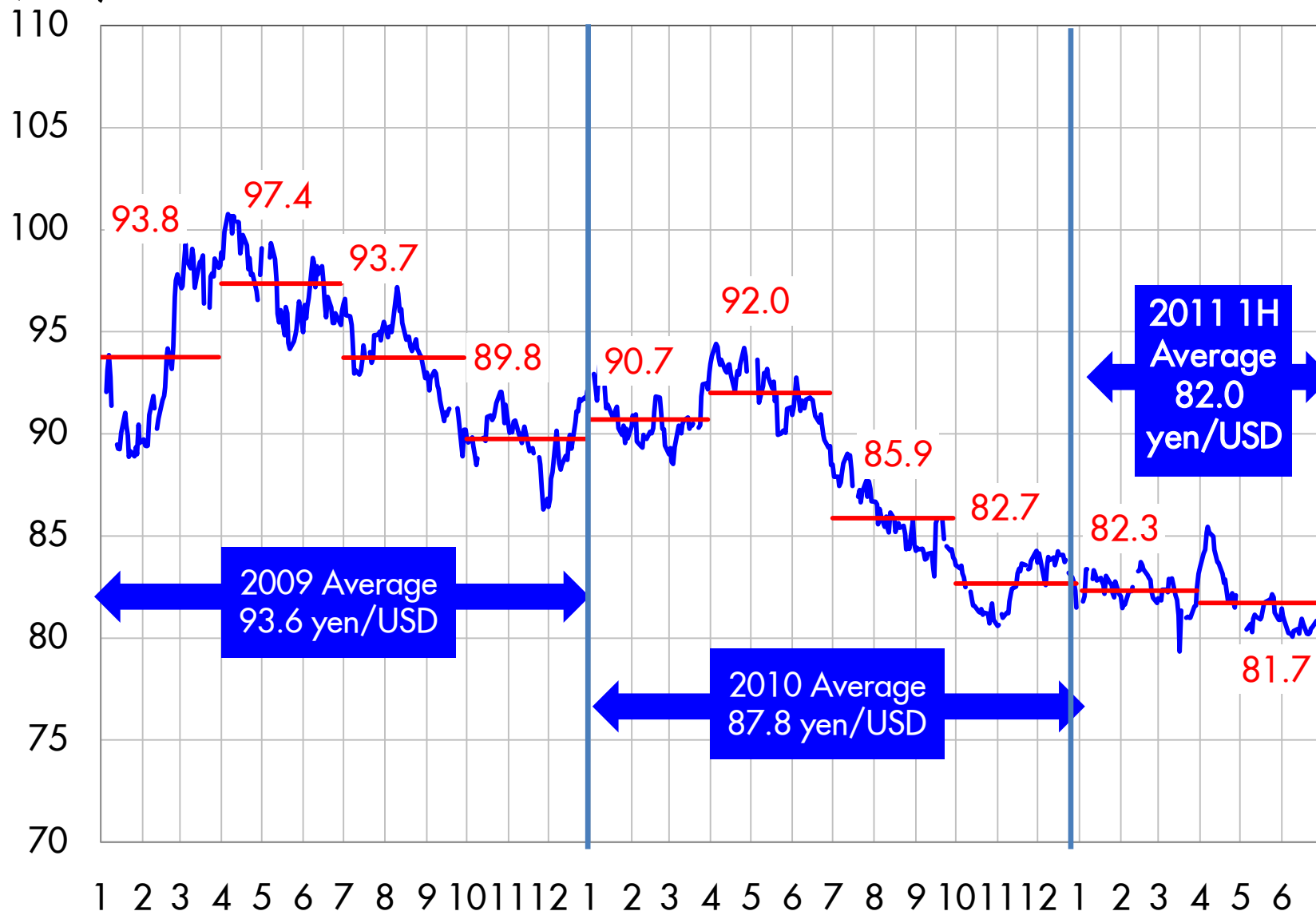
# ドバイ原油価格の推移

(USD/bbl)

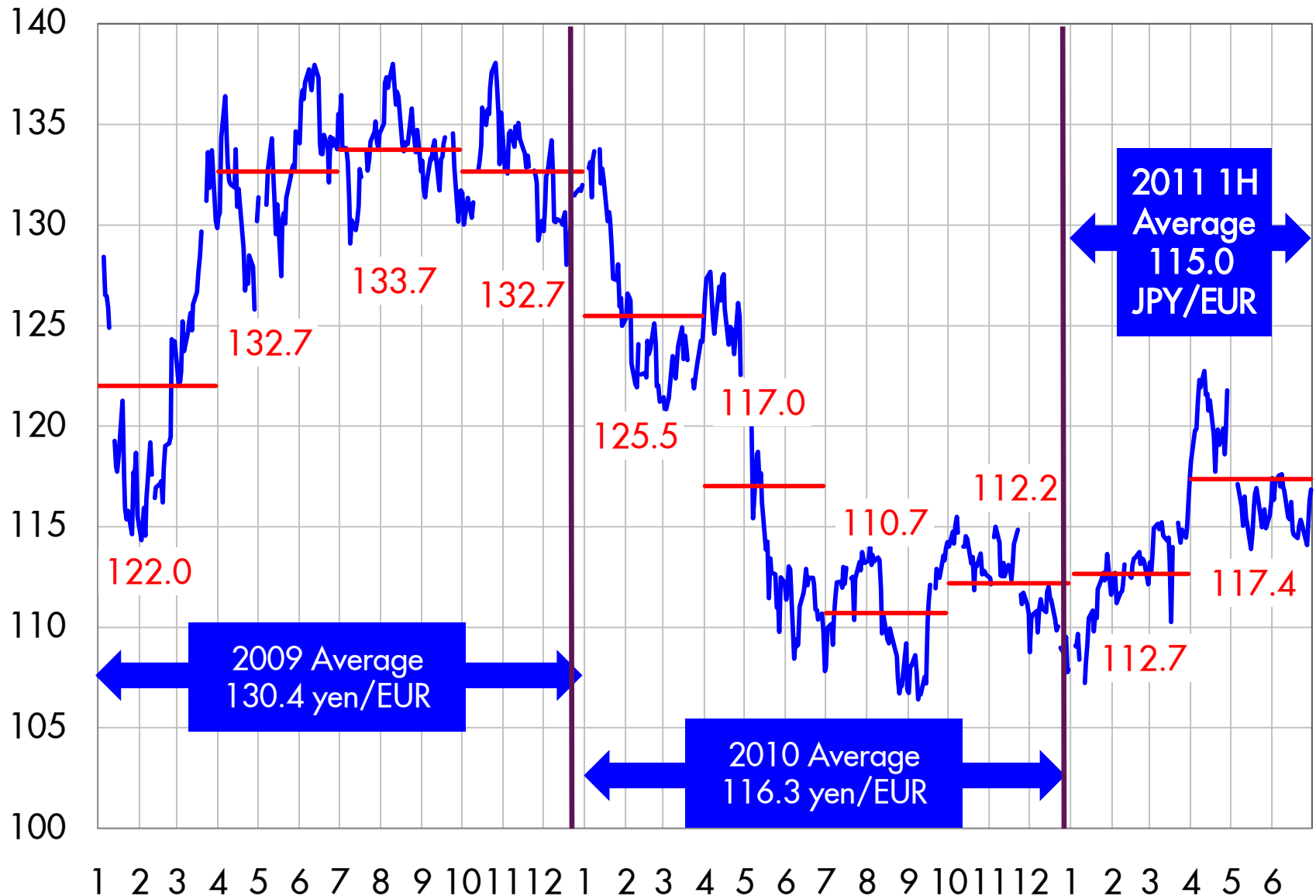


# 為替レートの推移（円/アメリカドル 仲値）

(yen/USD)



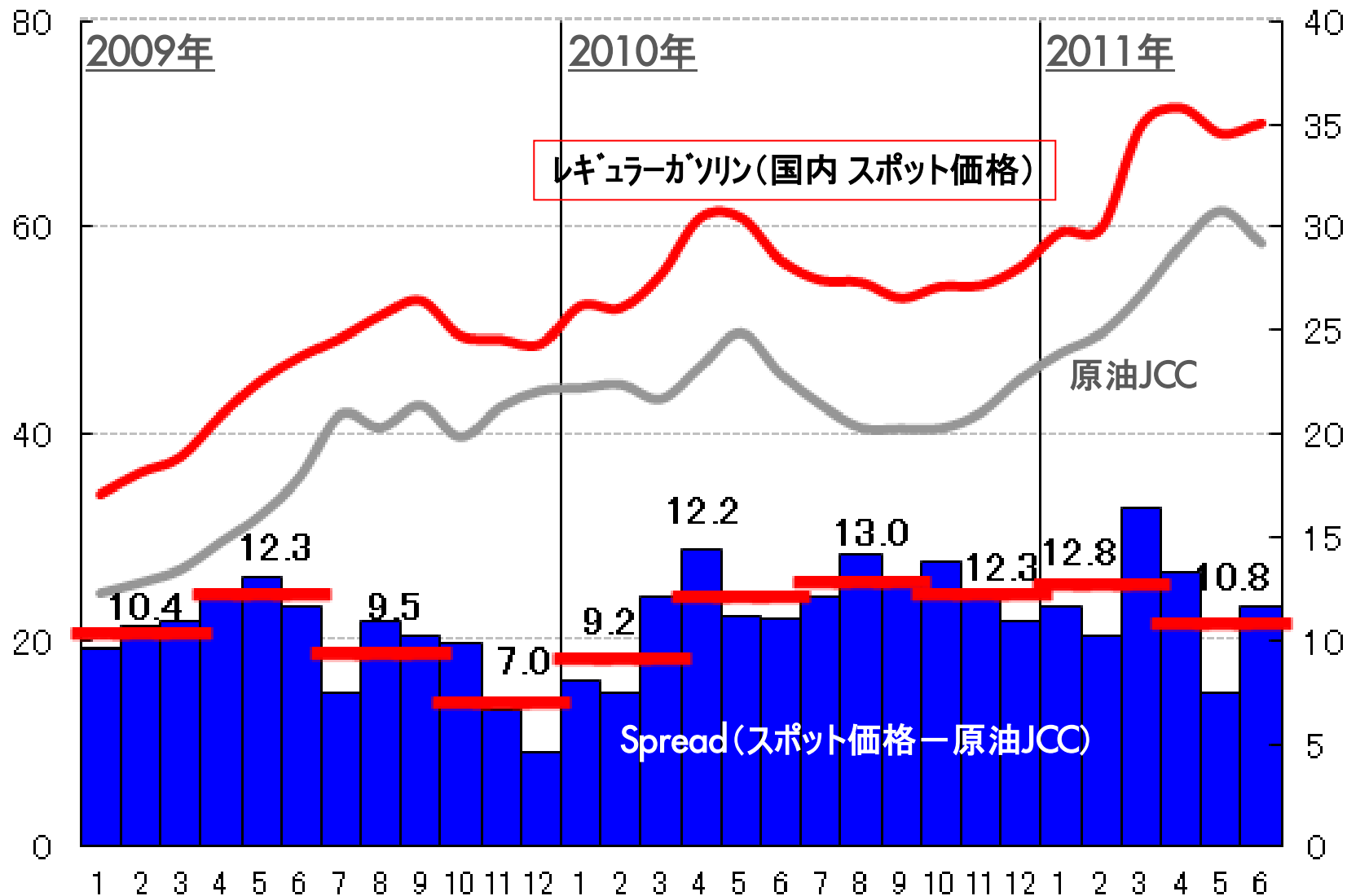
# 為替レートの推移（円/ユーロ 仲値）



# 国内マーケットの状況①（ガソリン）

原油・製品価格 ¥/L

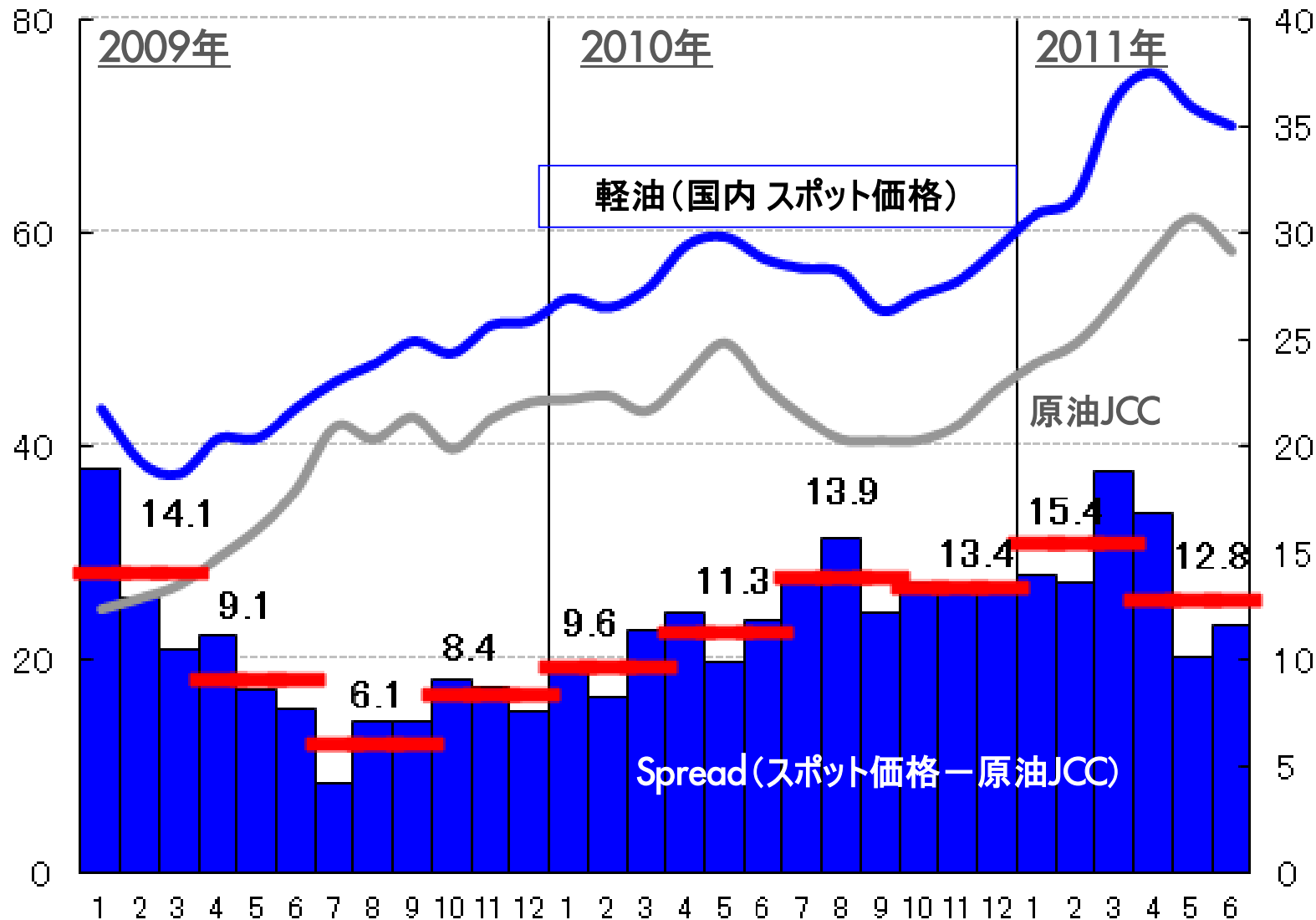
Spread ¥/L



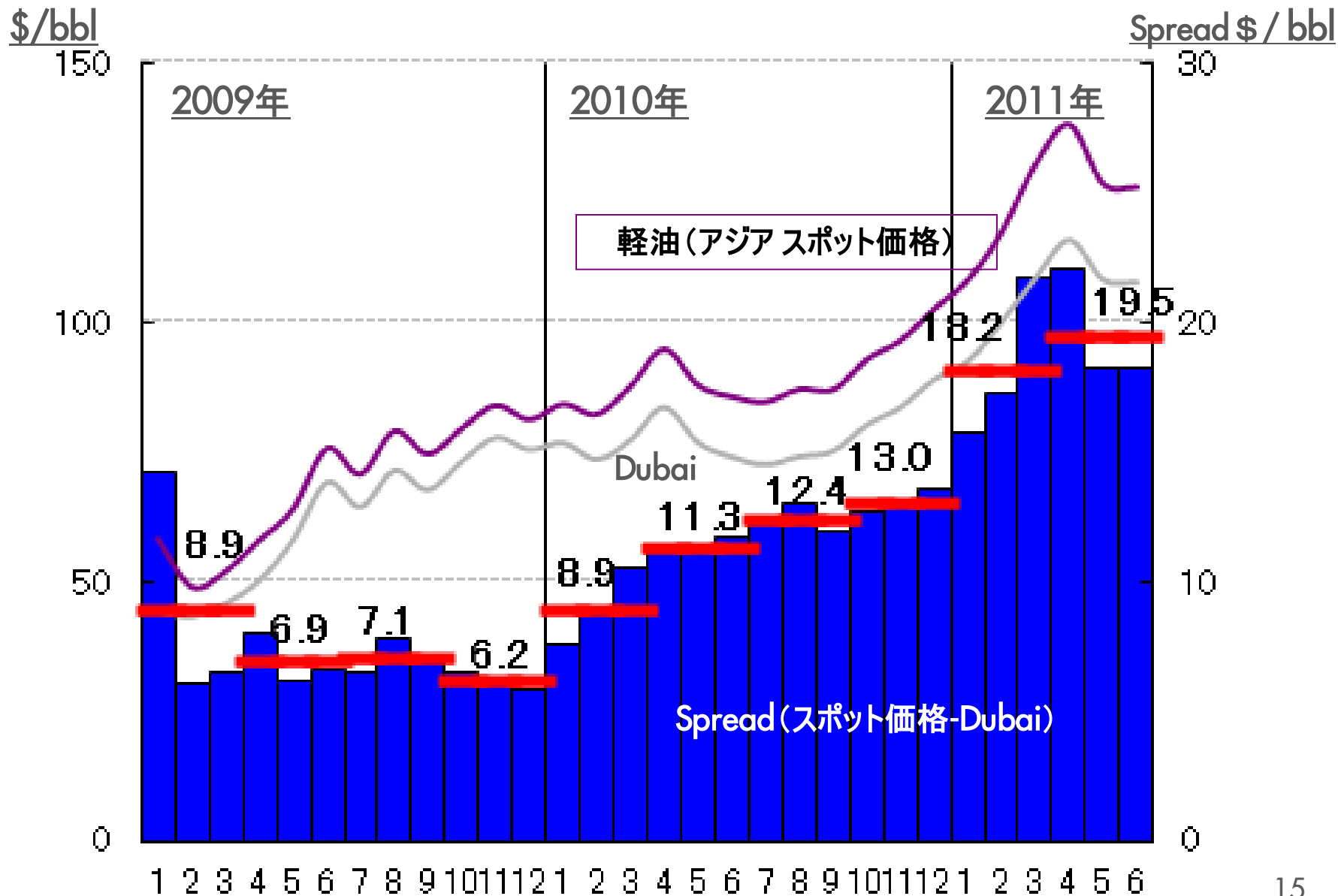
# 国内マーケットの状況②（軽油）

原油・製品価格 ¥/L

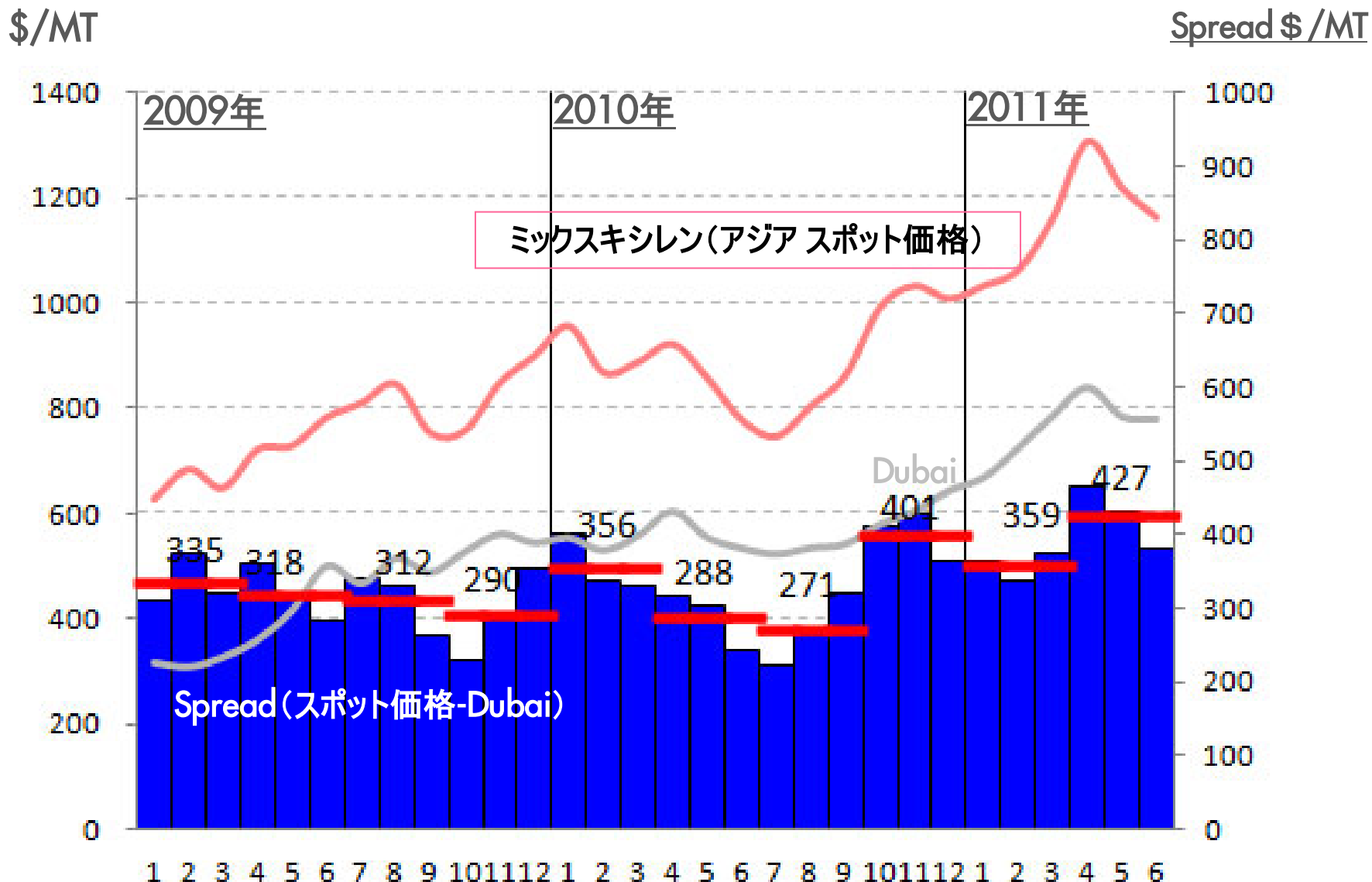
Spread ¥/L



# 海外マーケットの状況①（軽油）



# 海外マーケットの状況②（ミックスキシレン）





# 2011年上期 ー トピックス ー

2月：単一の太陽電池工場としては世界最大級の国富工場（年産能力900メガワット）が、一部生産ラインによる商業生産を開始しました。



（写真：国富工場 館内）

3月：厚木リサーチセンターにおいて、CIS薄膜太陽電池で世界最高のエネルギー変換効率を達成しました。（30cm角サブモジュールの開口部面積で17.2%）

5月：グループ製油所の昭和四日市石油(株)は、隣接する三菱化学とのコンビナート提携により、製油所競争力と石油資源の有効活用を強化することになりました。



（写真：厚木リサーチセンター）

6月：SSにおける節電を強化するために東京・東北電力管内の当社所有SS約400ヶ所のうち、半数を超える200ヶ所強へのCIS薄膜太陽電池を設置を開始しました。



（写真：横浜市内当社SS）



（写真：四日市製油所 RFCC）

